

(別紙4(2))

事業所名 社会福祉法人 信愛会 グループホーム たちばな

作成日: 令和 5年 3月 31日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	13	コロナ禍であり、法人内外の研修を受ける機会や参加が以前に比べ出来なくなっている。職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、質の向上の為、法人内外の研修に参加する必要があるのではないか。	職員一人ひとりのケアの実践と力量を把握し、法人内外の研修に参加する事で、職員一人一人の質の向上に努める。	・代表や管理者は、職員の面談や業務を見て力量を把握し、職員に必要な研修に参加させる。 ・職員は、研修に参加する場合は、なぜ研修に参加するのか意義を考える。必要であれば、代表や管理者に確認する。 研修後は、復命書の提出、定例会での報告を行う。 12ヶ月
2	6.7	コロナ禍であり、外部の目が入りにくく、職員が意識しないところで、身体拘束や高齢者虐待、不適切なケアを行う恐れがあるのではないか。再度学び直す必要があるのではないか。	職員一人ひとりが、身体拘束や高齢者虐待、不適切ケアの意味をしっかりと学び理解し防止が出来る。	・施設内外の研修に参加し、職員一人一人が学ぶことが出来る。 ・職員同士で、支援時の態度や言葉遣いに対して注意が出来る。 ・職員、利用者共に名前を呼ぶときは、〇〇さんと名前を呼ぶ。 12ヶ月
3	15	初期に築く本人との信頼関係づくりの仕組みが、不十分でないか。	センター方式を職員全員が学び理解し、利用者との信頼感で作りが出来る。	・職員が、センター方式を学べる研修に参加出来る。 ・職員は、センター方式を取り組み利用者支援にいかせる。 12ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注)完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。